**令和元年度 地域を編む孤立０(ゼロ)プロジェクト**

**合同研修会　実施要項**

１　趣　旨　　困難を抱える子ども・若者に係る諸問題に対する複合的支援活動を推進するため、関係機関・団体等が知見を広げ、課題や情報の共有・展開を図ることを目的に合同研修会を開催する。

２　主　催　　公益社団法人茨城県青少年育成協会

３　共　催　　青少年育成市町村民会議

茨城県ＰＴＡ連絡協議会

茨城県青少年相談員連絡協議会

茨城県生涯学習・社会教育研究会

４　日　時　 令和元年８月27日(火)　13時00分～16時00分

　　　　　　　　　　　　　　　　　　（受付　12時00分～）

５　会　場　 茨城県立青少年会館（水戸市緑町1-1-18　TEL 029-227-2747）

６　内 容　　○ 活動紹介資料 展示・配付コーナー

○ 合同研修会

・ オープニング

　　　　　　　　・ 活動実践者発表

（１）ひきこもり・不登校

発表者　ひきこもり大学茨城キャンパス（ひたちなか市）

（２）子どもの貧困

発表者　まちキッチン「あえる」普及委員会（稲敷市）

（３）子ども・若者の居場所づくり

発表者　特定非営利活動法人 華の幹（つくば市）

・ 分科会

　・ 全体会

（１）分科会まとめ発表

（２）講評　　茨城県生涯学習・社会教育研究会

会長　長谷川 幸介　氏

７　参加者　　主催及び共催団体の各関係者、青少年育成団体・グループ、

子ども・若者支援者等

８　参加費　　無　料

９　参加申込 （１）別紙参加申込用紙にご記入のうえ、(公社)茨城県青少年

育成協会へお申し込みください。

（２）団体でのお申し込みは、各団体で参加者を取りまとめた

うえで、(公社)茨城県青少年育成協会へお申し込みください。

10　申込締切　　令和元年８月20日(火)

11　問い合わせ先　　公益社団法人 茨城県青少年育成協会

〒310-0034　水戸市緑町１-１-18 県立青少年会館３階

TEL 029-227-2747 　FAX 029-228-6200

E-mail：sha＠ibaraki-ikusei.jp

12　その他　 （１）参加団体の活動紹介として、会場内に啓発物等の展示・配付コーナーを設けますので、啓発物をお持ちの団体は事前に事務局へお送り頂くか、当日ご持参下さい。なお、部数については、展示のみの場合は５部程度、配付の場合は100部程度をご準備下さい。

今年度、青少年育成協会に提出済のものがある場合は、引き続き展示をさせていただきます。

（２）参加者には参加希望の分科会をお申し込み時に事前提出いただきますが、会場の都合上、参加者数の偏り等がある場合は事務局において調整を行いますので、御承知おきください。

（３）茨城県立青少年会館には十分な駐車スペースがありませんので、できるだけ乗り合わせ、または公共交通機関をご利用願います。

＜交通の案内（バス利用の場合）＞

ＪＲ水戸駅 北口４番バス停から茨城交通バス「桜川車庫」または「桜川西団地」行き等に乗車　歴史館偕楽園入口で下車　徒歩１分

地域を編む孤立０（ゼロ）プロジェクト 合同研修会

分科会における事例検討テーマ

|  |
| --- |
| **【分科会Ⅰ】ひきこもり・不登校**  私たちは、具体的な社会の課題を知り、その当事者と出会うことで、自らは「理解者」になっていきます。理解者が増えることで、地域全体で課題の解決に関わろうとする支援者も増えていきます。  この分科会では、様々な生きにくさを抱える当事者が自らの経験や想いを語り、地域の方々がこのような課題の理解者になっていくために必要な考え方や姿勢、これから何ができるのかを考えます。  **＜発表者＞ひきこもり大学 茨城キャンパス（ひたちなか市）**  「ひきこもり大学 茨城キャンパス」は、ひきこもり当事者が先生になり、家族や支援者、地域の人たちが生徒になって、引きこもり経験から知恵を学び理解を広げる活動を行っています。当事者が安心して自己表現できる場で孤立を解消し、経験を積み、仕事につなげることも目的としています。 |
| **【分科会Ⅱ】子どもの貧困**  多くの支援活動では、“支援する側”と“支援される側”の関係性が生まれ、“してあげる支援”によって当事者の自己の判断力や実行力を養う機会が奪われるという矛盾が生じます。このような問題を理解しつつ、より良い“支援”のあり方とは何なのかを一緒に考えます。  **＜発表者＞まちキッチン「あえる」普及委員会（稲敷市）**  子どもからお年寄りまで幅広い世代が地域の拠点に集まり、その日のご飯を「一緒に作って、一緒に食べる」活動を行っています。大人たちが先生となり、子どもたちは自分の力で自分の食事を賄うという「生きる力」を養うための調理実習を行っており、地域の人材と食材を繋げ、「食育」の観点から地域課題に住民主体でアプローチしていくプロジェクトに取り組んでいます。 |
| **【分科会Ⅲ】子ども・若者の居場所づくり**  子ども・若者が健やかに成長するためには、安心して過ごす事ができる環境の中で、社会性や豊かな人間性を育むことができるよう、地域等における様々な体験や交流活動の充実を図ることが重要です。  この分科会では、近隣の高校と連携しながら、古民家を活用した地域の方々の交流の場づくりに取り組んでいる実例等を通して、子ども・若者の居場所の現状と課題について考えます。  **＜発表者＞特定非営利活動法人 華の幹（つくば市）**  築100年以上の母屋や蔵を再生し保存維持を目指しながら、ただ、保存するだけではなく、”生きたまま”古民家を次世代へ継いでゆくため、たくさんの人が行き交い、たくさんの人の実家的な存在になるような、交流の場作りを目指しています。 |

**（団体用）**

**地域を編む孤立０(ゼロ)プロジェクト 合同研修会　参加申込用紙**

令和元年　　月　　日

【送付先】　公益社団法人 茨城県青少年育成協会

FAX 029-228-6200　　E-Mail　sha@ibaraki-ikusei.jp

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 団体名 | |  | | | | | |
| ご担当者 | | 役職・氏名 | | | | | |
| 所在地 | | 〒 | | | | | |
| 電　話 | |  | | ＦＡＸ | |  | |
| １ | 所　属 |  | | | | | 駐車場利用 |
| 役職氏名 |  | | | | | 有・無 |
| 分科会 | 第１希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | 第２希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| ２ | 所　属 |  | | | | | 駐車場利用 |
| 役職氏名 |  | | | | | 有・無 |
| 分科会 | 第１希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | 第２希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| ３ | 所　属 |  | | | | | 駐車場利用 |
| 役職氏名 |  | | | | | 有・無 |
| 分科会 | 第１希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | 第２希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| ４ | 所　属 |  | | | | | 駐車場利用 |
| 役職氏名 |  | | | | | 有・無 |
| 分科会 | 第１希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | 第２希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| ５ | 所　属 |  | | | | | 駐車場利用 |
| 役職氏名 |  | | | | | 有・無 |
| 分科会 | 第１希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | 第２希望 | Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |

**※上記の欄が不足する場合は、適宜追加してください。**

**※分科会については、会場の都合上、参加者数の偏り等がある場合は事務局において調整を行いますので、御承知おきください。**

**（個人用）**

**地域を編む孤立０(ゼロ)プロジェクト 合同研修会　参加申込用紙**

令和元年　　月　　日

【送付先】　公益社団法人 茨城県青少年育成協会

FAX 029-228-6200　　E-Mail　sha@ibaraki-ikusei.jp

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| お 名 前 | |  |
| (所属団体があれば)  団 体 名 | |  |
| ご 住 所  （市町村名） | | 市　・　町　・　村 |
| 電　　話 | |  |
| Ｆ Ａ Ｘ | |  |
| Ｅ－Ｍａｉｌ | |  |
| 分 科 会 | 第一希望 | Ⅰ　・　Ⅱ　・　Ⅲ |
| 第二希望 | Ⅰ　・　Ⅱ　・　Ⅲ |
| 駐車場利用 | | あ り　・　な し |

**※分科会については、会場の都合上、参加者数の偏り等がある場合は事務局において調整を行いますので、御承知おきください。**